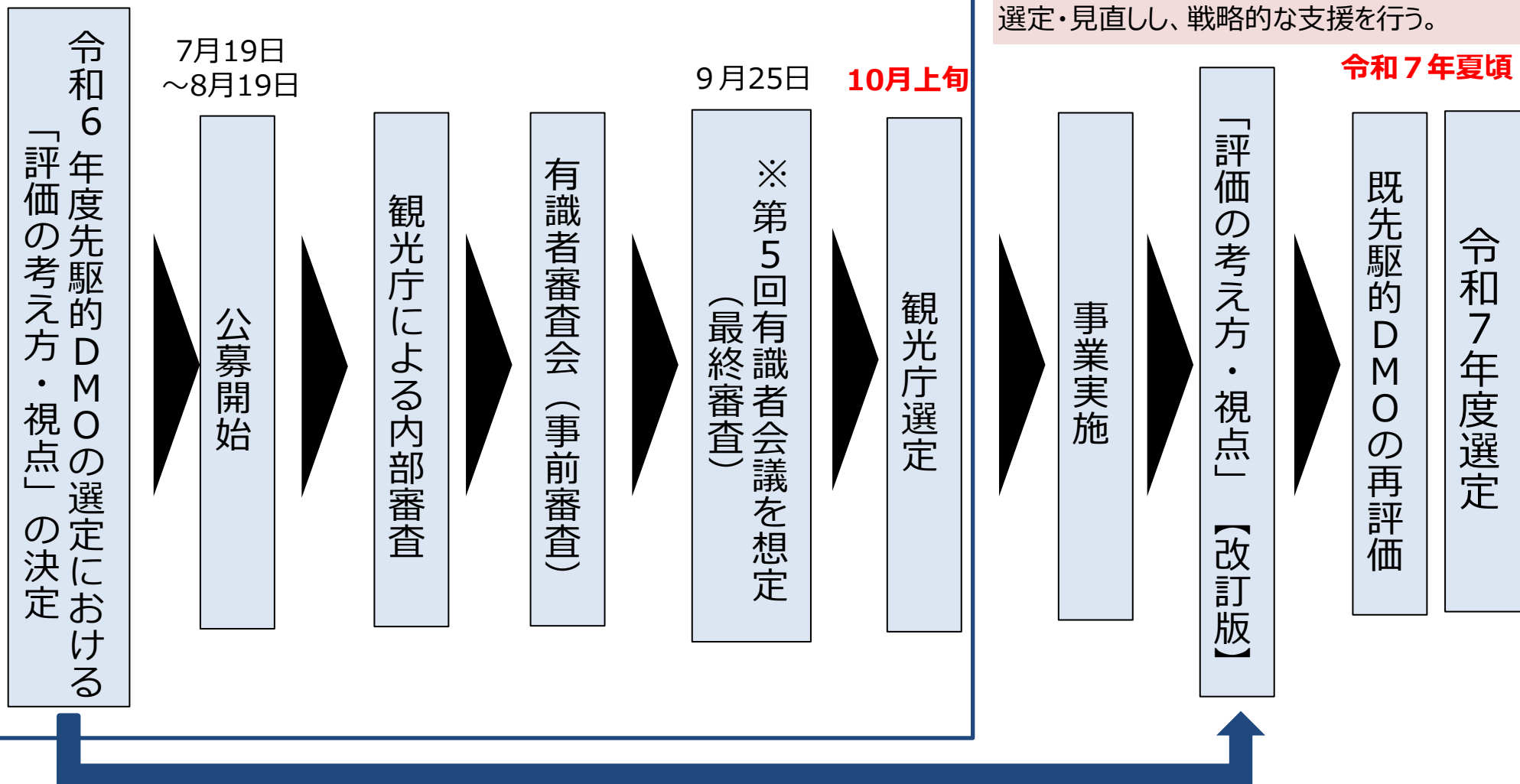


先駆的DMOの選定

令和6年度先駆的DMO 選定スケジュール

令和6年度選定スケジュール

令和6年7月



観光立国推進基本計画〈抄〉

（令和5年3月31日閣議決定）

「世界的な DMO」の候補となる「先駆的DMO」を令和7年度時点で **10 法人**となるよう順次選定・見直し、戦略的な支援を行う。

令和7年夏頃

令和6年度選定・令和4年度選定の先駆的DMOモデル実証を踏まえ、検証・見直し

インバウンド地方誘客を支えるDMO（先駆的DMO）の評価の視点・考え方

(1) 観光地経営戦略策定、KGI・KPIの設定	- 観光地経営戦略に次の5つの方針を盛り込んでいるか - インバウンドを如何に誘客するか又はオーバーツーリズムを如何に未然防止・抑制するのが示されていること（自らの取組だけでなく、異なる区分のDMOや多様な関係者等との連携を含む） - 観光による受益を高め、広く地域（DMOがマネジメント・マーケティング対象とする区域）にいきわたらせる方針 - 観光分野において地域への新たな活力（資金、人材、企業等）を創り出す方針 - 地域の観光資源（自然、文化等）の保全・活用の方針 - 観光危機管理の方針（インバウンドへの対応は必須） - 戦略、それに沿った取組の実施にあたり、KGI・KSF・KPIが適切に設定されているか（インバウンドに係る指標は必須） - 地域調達率、域内への波及効果（額）、地域観光GDPの目標値は、観光地経営戦略と整合した設定となっているか - 地域調達率、域内への波及効果（額）、地域観光GDPの目標値を達成しているか - CRM又はDMPを導入しており、それらから得られたデータを分析し、戦略に反映しているか
(2) 戦略に基づく取組の具体化と実施・検証・改善	- インバウンドのニーズを的確に捉え、高度な受入環境整備を実施しているか - 基礎的受入環境整備率の目標値を設定し、達成しているか - 観光地における二次交通確保のために、主体的に取り組んでいるか（地域関係者への働きかけ等） - インバウンド向けガイド人材を確保（DMO職員として採用等）しているか - インバウンド向けガイド付きツアー商品を提供しているか - 地域内の人材育成・確保に取り組んでいるか
(3) 多様な関係者との体制構築	- 地域の実情に応じて一次産業、二次産業、文化財、国立公園、道の駅等の関係者を巻き込んでいるか - 観光地経営戦略の策定時において、多様な関係者から意見収集・反映を行っているか - 異なる区分のDMOとの連携体制を構築しているか - 戦略もしくは事業計画等において多様な関係者との役割分担が明示されているか - 住民を含めた多様な関係者への説明責任を果たしているか
(4) 観光地域づくり法人の組織の確立	- 職員の年齢構成などを勘案し、持続的な組織として必要な人材を確保しているか（英語対応可能な職員も含む） - CMOが専従で最低一名存在しているか - DMO職員の満足度を把握し、職場環境の改善に取り組んでいるか - DMO組織内で知識の共有を図り、組織力の向上につなげているか - 組織ガバナンスの強化に取り組んでいるか
(5) 安定的な運営資金の確保	- 自主財源確保に向けた取組計画を策定し、その目標値を達成しているか - 予算計画は、観光地経営戦略（中長期）との整合が図られているか - 観光地経営戦略に基づき実施する事業費、運営費の財源を確保しているか（確保していない場合にあっては、確保する可能性が高いか）
(6)その他のアピール	(1)～(6)を全て含めて総合的に判断

今年度の取り組み

- 令和6年度「DMOを核とした世界的な観光地経営モデル事業」を活用し、次の取り組みを実施。
 - ー 先行の3つの先駆的DMOに対して、アクションプランに基づく取組への支援を継続。
 - ー 今回選定の先駆的DMOに対して、現状分析のための調査・アクションプラン策定等の支援を実施。



来年度

- 先駆的DMOに対して支援を継続方針（現在、令和7年度概算要求中）
- その上で、次の2点について、DMO有識者会議において継続的に審議
 - ①先駆的DMOの違いを踏まえ、先駆的DMOの目指すべき方向性の整理
 - ②令和7年度先駆的DMO選定に向けた「評価の考え方・視点」（案）の決定